

アタック速硬モルタルMS-600の標準施工要領書

テクノスジャパン株式会社

アック速硬モルタル MS-600 の作業手順について

● アック速硬モルタル MS-600 の作業手順

- (1) コンクリート躯体の劣化部除去
脆弱層を残さないよう除去して下さい。(必ず、確認して下さい。)
- (2) プライマー(テックス7)の塗布
噴霧器を使用し、塗り残しがないように施工して下さい。(刷毛及びローラー刷毛の場合は、くぼみに付き難いので注意して下さい。)
下地への吸い込みが、はやい場合は、再度噴霧して下さい。
テックス7塗布した後、指触乾燥(手に付かない状態)を確認し、次にアック速硬モルタル MS-600 を塗り付けて下さい。
- (3) 攪拌
 - ①水(上水道水)の計量。[標準配合：粉体 25kg/袋当り、水 4.6kg]
 - ②ペール缶に計量した水のうち9割程度入れ、アック速硬モルタル MS-600 を約 2/3 投入してハンドミキサーを用いて攪拌して下さい。
 - ③全体が混合された状態で、アック速硬モルタル MS-600 の残り約 1/3 を投入するとスムーズに攪拌することが出来ます。
 - ④全体が混合された後、残りの水により適度な作業粘度に調整して下さい。
- (4) 塗り付け
 - ①テックス7が乾燥(指触乾燥)していることを確認して下さい。
 - ②モルタルがコンクリートの凹部に詰まるように金ごてにて十分に圧着させて下さい。(コンクリートの凹部に圧着できていない場合は、モルタルの浮き・フクレが発生します。)
 - ②凹部に圧着させた後、直ちに所定の厚さになるように塗り付けて下さい。(一度に厚く塗り付けた場合は、凹部に十分に圧着できず、モルタルの浮き・ふくれが発生し易くなります。)
 - ③硬化後にアック速硬モルタル MS-600 を塗り重ねる場合は、予めくし目を入れ、テックス7を塗布し、再度①・②の工程を行って下さい。

- ④表面仕上げは、コテにより押さえながら仕上げてください。
 (金ごてで押えすぎ及び均しすぎないように注意して下さい。)

※ 硬化後、表面の強度が低い(表面が白い粉状または簡単に削れる状態)場合は、必ず、その部分を除去して下さい。

(5) 夏季及び直射日光の当る場所等での施工について
(アタック速硬モルタル MS-600 の下地コンクリートへの急激な水分の吸い込み防止対策)

1) 施工前の対策

- ①直射日光により下地コンクリートの温度が上昇するのを防止する為に、シート養生等を行って下さい。
 ②下地コンクリートが高温になっている場合は、散水等により温度を下げて下さい。
 (但し、テックス7を塗布する時は、浮き水が無い状態で行って下さい。)

2) プライマー(テックス7)工程での対策

- ①テックス7を塗布した時に、下地コンクリートへの吸い込みが、はやい場合は、再度塗布して下さい。
 ②テックス7を塗布し、指触乾燥(手に付かない状態)の後に、塗布面に水を散布して下地コンクリートへの吸い込みが無いことを確認して下さい。水が吸い込まれる場合は、再度塗布して下さい。(水の吸い込みが無い状態になるまでテックス7を塗布して下さい。)

(6) アタック速硬モルタル MS-600 の標準仕様

製品名	1袋当りの標準配合			1m ³ 当りの標準配合	
	粉体 (kg)	水 (kg)	練り上がり量 (ℓ)	粉体 (kg)	水 (kg)
アタック速硬モルタル MS-600	25	4.6	約 14.4	1750(70袋)	322

注1)練り混ぜ水量は、施工時の気温・施工方法により変化します。1袋(25kg)当り 4.5~4.7kg の範囲で調整して下さい。

注2)練り混ぜ後は、できるだけお早めにご使用ください。

(7) 使用上の注意事項

- 1)粉体の取扱いは、セメントに準じて行って下さい。
 2)破袋または開封後、放置した製品は使用しないで下さい。
 3)練り混ぜ水には、上水道水を使用して下さい。
 4)製品の保管は、5℃以上、35℃以下の室内として下さい。